

## 伊江村議会 議会報告・村民との意見交換会会議録

招集年月日 令和5年12月6日（水曜日）

招集場所 はにくすにホール

開 会 12月6日 19時00分 司会（宮城弘和議員）

閉 会 12月6日 21時00分 内間広樹副議長 宣言

出席議員

(応招議員)	1	渡久地 政 雄 議員	7	島 袋 勉 議員
	2	知 念 邦 夫 議員	8	島 袋 義 範 議員
	3	宮 城 弘 和 議員	9	亀 里 敏 郎 議員
	5	虻 江 修 議員	10	名 嘉 實 議員
	6	並 里 晴 男 議員	11	内 間 広 樹 議員

欠席議員 なし

本会議に職務のため出席した者の職氏名  
議会事務局長 山城直也  
主 査 金城 成 会計年度任用職員 大城 愛 美

参加者 村民46名

事前質問団体 太陽の花、たばこ振興会、阿良区婦人会、川平区婦人会  
青年会、ふさと苑、老人ホームいえしま

## ○ 議長 渡久地 政雄

第1回村民との意見交換会に多くの団体、リーダーの皆さんが御参列をくださり、ありがとうございます。第1回ということで、持ち方についてどうしたらいいのかということはありませんでしたが、今日は時間が9時までとなっております。団体からの要請とそして個人的な要請や意見も多々あると思いますけれども、遠慮なく申し出て、活発な意見交換会となることを期待しております。

沖縄県には町村議会が30町村ありまして、その中において名護市や南風原町、久米島町等が村民、町民意見交換会を開催されており、3、4年前から私も議会人としてぜひ伊江村の皆さんとこのように一堂に集っているような意見を出して、住みやすい村づくりのために開催したいという計画はしておりました。コロナ禍ということで今日まで開催できませんでしたが、やっと私たち議会の全員集合の下、皆さんと今日本当に開催されることを心よりお喜び申し上げます。

それでは、簡単ではございますけれども、議長の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

## ○ 司会 宮城 弘和 議員

それでは次の日程に移りますけれども、議員の皆様は席の移動をよろしくお願ひします。

それでは議会報告に入らせていただきます。内間広樹副議長、よろしくお願ひいたします。

## ○ 副議長 内間 広樹

では、私から議会報告ということで、これまで議会広報誌等にも掲載しており、御存じの方もいらっしゃると思いますが、また改めて議会の概要等を説明させていただきます。今日は10人の議員全員参加の下、報告会ができることをうれしく思います。

まず、議会とは何だろうということです。議会とは皆様から選挙で選ばれた議員で構成され、村の条例や予算など、重要な事項を審議し決定する唯一の機関であります。昨年9月に任期満了による改選選挙が行われ、第20期の議員が選出されています。任期は4年で令和4年9月28日より令和8年9月27日までとなっております。議会が議決機関と呼ばれているのに対し、議会の決定に対して実際に業務を行うのが村長が代表する行政、役場であり、執行機関と呼ばれています。よく議会と当局は両輪と言われますけれども、議会議員、あるいは村長は住民の直接選挙によって選ばれるので両輪と呼ばれているというところでもあります。しかし、議会は行政と互いに独立した考えを出しながら、村民生活の向上に努めているところでもあります。

次に、議会には定例会が条例で定められています。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回であります。各市町村同様の条例だと思えます。会期については、3月定例議会は予算議会と言われまして、会期が約2週間、一番長い会期であります。6月、9月、12月については会期は3日から4日の会期で開催しております。それ以外に緊急を要する際には会議を開く必要が生じたときに開かれるのが臨時議会であります。昨年は臨時議会は6回開かれておりますが、多い年だと10回ほど議会が開かれています。議会なので、議長に議会の招集権があるのかと思われると思いますが、議会の招集権は村長が持っています。平成24年に地方自治法が改正され、村長が議会を招集しないときは議長が臨時議会を招集することが定められています。議会から求める臨時議会が多いのが、米軍による事件・事故があった場合に議会を開くということを要請して、村長が開かなかったということはありません。

次に、議会における委員会の役割があります。伊江村議会には総務常任委員会、経済・公営企業常任委員会、各委員必ず所属することになっています。総務常任委員会は総務課、住民課、医療保健課、企画課、教育委員会等々の所管となっております。経済・公営企業常任委員会につきましては、農林水産課、建設課、商工観光課、公営企業等となっております。それ以外に議会広報調査特別委員会、年に4回の議会広報誌を発行しています。議会広報誌は皆さん御覧になられていると思いますが、広報誌の表紙に「いえそん」という題字を書き添えていただいております。「麗峰会」と「ふさと苑」さんにお願ひし、約10年前から施設利用

者の高齢者の方に題字を執筆していただいて今日まで来ております。この場をお借りして御礼申し上げます。この常任委員会、後ほど皆さんから事前にいただいた案件、要望等は後ほど各常任委員会でその報告をする予定としております。

次に、伊江村議会は議員定数10人となっています。戦後の自治制度後の初の伊江村議会選挙が昭和23年に行われておりますが、そのときの定員は22人でした。それから定員が16人、14人となり、平成14年第15期より行政改革あるいは議会改革とし、14人から4人減の10人となり現在に至っています。それから17年が過ぎているのですが、令和3年6月17日に議員定数に関する特別委員会を立ち上げました。各市町村の実態や各団体等にアンケートを行い、その後行政との意見交換を行い、最終的に議員定数について採決の結果、現在の10人が妥当と判断し、現在の10人になっております。その際に、参考として皆さん見えますでしょうか。伊江村が一番上にありますが、類似の自治体であったり産業構造であったり、あるいは人口だったり等を比較したところ、伊江村も現行の10人が妥当ということで決定いたしております。

次に議員の報酬ですが、伊江村が一番上にあり、これは北部の9市町村の議員報酬を皆さんにお見せしています。議長が9市町村の中で6番目になっています。一番多いのが宜野座村、その次、副議長が多いのが宜野座村、恩納村。伊江村は6番目にあります。各委員長につきましても一番多いのが宜野座村、それと恩納村、委員長も6番目にあります。それと、各議員につきましても多いのが宜野座村、恩納村、伊江村については6番目にあるということでもあります。それ以外にも期末手当等につきましては、枠の中の赤字の一番右下のほう、給料、報酬、期末手当合わせて約308万円が議員報酬となっております。

次に、来週の火曜日からまた12月定例議会が始まりますが今回は6人の議員が9件の一般質問を行う予定をしています。

次に、令和5年伊江村議会の活動報告として、皆さんから御覧になって右のほう、議会傍聴人が12月定例会はこれからなので、74人の方が議会傍聴にいらしています。6月定例会は伊江小学校の児童、9月定例会は伊江中学校の生徒が傍聴に来ています。皆さんから見て左のほう、定例議会は大体一般質問は6人から7人、一番多いときで10人全員、一般質問を行っています。件数にして約10件の一般質問を行っています。

次に、定例議会の前に村内防災無線等で議会傍聴の呼びかけをしています。議場の後ろのほうに一席けていますので、ぜひ議会の傍聴にいらしていただければと思います。

次に、傍聴席から見た議会の様子でございます。対面式となっております。一般質問の議員は前へ出て自席で一般質問を行うこととなっております。傍聴席から見て国旗と村旗の下が議長席、そして両サイドに役場の執行部、右の手前に村長、副村長、教育長、三役が座る構造となっております。12月定例会は12月12日から始まります。ぜひ議会に足を運んで傍聴していただければと思います。

大変簡単で駆け足でしたが、10分ほどの議会報告会ということですので、これで議会報告会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

## ○ 司会 宮城 弘和 議員

副議長、大変お疲れさまでした。以上をもちまして、議会報告は終了させていただきますが、議会報告に関しまして御質問がある方は、その後の意見交換会の中で御質問を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。では、議員の皆さんは元の席へお戻りください。

続きまして意見交換会となりますが、事前に7団体から要望、意見等がございますので、その回答を行いたいと思います。初めに、経済・公営企業常任委員会の並里晴男常任委員長、知念邦夫副委員長、よろしくお願いいたします。

## ○ 経済・公営企業常任委員会副委員長 知念 邦夫

では、ただいま進行からありました事前に各団体よりいただきました要望の内容は私、経公委員会の副委

員長知念が読み上げたいと思います。

団体名、太陽の花。1つ目にハウスの修繕費用を補助できないか（露地設備）。それと2つ目にタッチゅん券。タッチゅん券はたばこ振興会からも要望がありますので、一括して回答したいと思います。まず最初に、太陽の花の団体、2件の要望をよろしくお願いします。

○ 経済・公営企業常任委員会委員長 並里 晴男

皆さんこんばんは。経公委員の並里です。私から、要望に対しての報告をさせていただきます。まず1点目のハウスの修繕費につきましてですが、これは台風6号の後、平張とかのかなり被害があったということを知っています。そして、今回要望があった件につきまして、行政の農林水産課の意見を聞いたところ、ハウスの老朽化した施設につきましては補助があると。それは支部の皆さんも承知をしているということを知っています。そして今回主に補助については網とか、簡易的な補修とかについての要請ということを知っています。この要請についての補助事業はありません。そして簡易的なところにつきましては、今後支部の皆さんとか、意見を集約していただいて、支部からの陳情、要請なり、行政側、あるいは議会に一応上げていただければ、またその被害状況とかもいろいろ調査しながら、今後進めていければという行政からの報告もありまして、今後、ぜひ支部の皆さんでまとめていただいて、また今後の要請なりをよろしくお願いをしたいと思います。

続きましてタッチゅん券につきましてですが、タッチゅん券の要請につきましては、これまで議会もそして行政も最近の物価高騰による村民生活に支障が出ていることは承知してはいて、そういう議論をしていたところ、要望が出てきた時期と私たちもそういう内容につきましては吟味していたところでもあります。そして、今回村民に12月からタッチゅん券が交付されるということで、各家庭にチラシが配布されていると思います。まさしく行政も議会もいろいろ、そういう方々に対して支援ができないかという議論を踏まえて今回に至っているかと思っておりますので、ひとつまたそのチラシを受けて、少々なりとも村民生活の支援になっていただければという思いをしています。以上、太陽の花の要望につきまして報告をしたいと思います。

○ 経済・公営企業常任委員会副委員長 知念 邦夫

続きまして、たばこ振興会からの要望ですけれども、1点目に、農業資材の高騰により農業収入が減っているのを、それを足して助成してほしいということと、2点目の、タッチゅん券の件は前回の回答とします。

○ 経済・公営企業常任委員会委員長 並里 晴男

たばこ振興会からの要望につきまして、議会でも一応検討したところ、農業資材といいますとちょっと幅広くて、マルチとかそういったいろんな資材、肥料とかということもありまして、なかなか議論的にはちょっと報告がしづらいんですが、実はこれも全農家に対してですが、化学肥料低減定着対策として農林水産課でそういう対策をしており、これは堆肥センターの堆肥の補助を行うということが今回出ています。この支援の内容につきましては、これも各家庭へチラシが配布されているとおりで、その資料につきましては、各家庭にお帰りになってからまた参考にしていただければと思います。この資料によりますと、1月31日までの申請締切りとなっています。ちなみに中熟堆肥がトン2,750円が750円。15キロ袋が165円が75円というようなチラシが来ていると思いますので、これはたばこ振興会だけではなく、農家の皆さんの支援になるかと思っておりますので、農林水産課からそういうチラシが配布されていることをまたよろしくお願いします。

続きましてタッチゅん券につきましては、先ほど太陽の花さんに報告したとおり、今回チラシが各家庭に届いているということですので、ぜひこれを活用して、物価高に少しでも支援ができればと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

○ 経済・公営企業常任委員会副委員長 知念 邦夫

では続きまして、阿良区婦人会からの要望があります。1つ目に、フェリーに車両を乗船させる際、車か

ら降りずにドライブスルー方式で切符が購入できるようにしてほしいということがあります。理由として、小さな子供を本島に連れていく際に子供だけ車に残して切符を買いに行ったり、体調が悪い子を抱っこして移動するなど負担がある。それと、車両混雑の軽減にはつながらないかということが理由に挙げられています。2つ目に、車両を乗せず人のみで乗船する際、切符を購入する際に、一旦階段を上って切符を買い、それからまた階段を下って乗船するんですが、高齢者や足の不自由な人が大変そうで、できれば船入り口付近で切符購入、またはQR決済ができるようにしてほしいという要望があります。3点目に、本部港において、バス停に車を停車させスタンプを押しに行く状況もよくないのではないかと思いますという意見。それから4点目に、伊江港ターミナル周辺の駐車スペースを増やしてほしいという要望があります。理由としまして、遠くに止めたり路駐をしたりしていると。また、最近旧ターミナル2階に新店舗が開業されていることから、村民及び観光客等の駐車も増えるのではないかとということで、阿良婦人会より4点の要望がありました。

#### ○ 経済・公営企業常任委員会委員長 並里 晴男

それでは阿良区婦人会からの要望につきまして、1点目のドライブスルー方式で切符の購入の件ですが、公営企業課の意見を確認したところ、現在の施設ではドライブスルー方式で購入することはなかなか厳しい状況ではあるということ。しかし今回阿良区の婦人会からの思いは、やはりお母さんとしての思いが大きくて、非常に大切なことだと思っています。そして公営企業課としまして、そういう子供を抱いてなかなか切符を買いに行きづらいときには、事前に公営企業課に電話連絡をしていただければ、車から降りないで対応するようなことは検討しますということなので、ぜひそこら辺は私たちも今後の対応を確認していきたいと思っています。乗車時刻も、そういう場合はできるだけ早めに来ていただくとか、そういうことも踏まえながら、公営企業課としては対応したいということですので、よろしくをお願いします。

2点目の件につきまして、駐車場から出て階段を上ってまた下るとか、遠回りではないかという御意見につきまして、現在の施設の状況では、これも公営企業課と意見をすり合わせたところ、この人と車の交差などをできるだけ少なくするような安全性に配慮すると、現状のほうが今のところいいんじゃないかという意見でありまして、この高齢者等の駐車専用スペース、それが十分足りているのか、今後議会としても確認して、いろんな角度で今後検討して、また公営企業課とも意見交換をしていきたいと思っています。そしてQR決済につきましては、今後、調査研究していきたいということで、検討事項ということで報告を受けています。

3点目の本部港で車の切符を買うときに、現在バス停のところで主に止めて行くものですから、いろんな状況が危険とかそういったことも確認したところ、本部港の中に職員駐車場がありますが、そこを利用しながらできないかどうか今後検討していきたいということでありましたので、またこれも引き続き検討事項ということで、公営企業課といろいろ確認をしていければと思っています。

4点目の伊江港のターミナル周辺の駐車場スペースを増やしてほしいということですが、これは現在、伊江貨物さんの荷さばき場の南側に新しく荷さばき施設を建設中です。そして、その建設が完了すると、現在ある荷さばきスペースが空くことから、40台前後の駐車場が確保できるという見通しで伺っていますが、確保できるから、これでいいのかではありませんが、今後確認して、できるだけ駐車できるように、公営企業課としても検討しているということですので御報告をします。以上です。

#### ○ 経済・公営企業常任委員会副委員長 知念 邦夫

続きまして川平区婦人会からの要望です。本部立体駐車場、車両、人の出入口を別個の検討、それから駐車場を年間契約、場所を固定してほしいとの要望があります。

#### ○ 経済・公営企業常任委員会委員長 並里 晴男

川平区婦人会からの本部港の立体駐車場の件ですが、本部港の立体駐車場は、沖縄県の管理となっていま

して、まず意見の車両の出入口につきましては、その出入口の改修について、伊江村からも県や土木事務所の調整時に常に要望を行っている状況であるということです。沖縄県としても建設して間もないことなどから、改修工事は厳しいという回答を得ていますが、一応、行政としては今後も引き続き要請をしていくという報告を受けています。

そして、また駐車場の固定に関してですが、1年目は固定で契約をして、2年目からは固定しないでやっている状況です。その理由として、この立体駐車場は伊江村のためにじゃなくて、伊江村に訪れる方々、そして一般的な方々の目的もあることから、県の指導の中でも多くの一般駐車場を利用させていくようなこともあり、契約駐車場の中で固定をしてしまうとのおのずとそのほかの観光、村に訪れる方々の一般車両がなかなか止めにくいというようなことも、この1年目のときにいろんな意見や話があったということ踏まえて、固定をしないでフリーな状況の契約にしているということで、公営企業課からの報告であります。以上です。

#### ○ 司会 宮城 弘和 議員

並里委員長、知念副委員長、お疲れさまでした。

続きまして総務常任委員会、島袋 勉委員長、島袋義範委員、よろしくお願いいたします。

#### ○ 総務常任委員会委員 島袋 義範

皆さん、御苦労さんです。よろしくお願いいたします。

総務委員会としては、青年会、ふさと苑、グループホームいえしま、この3か所からの意見要望等をただいまから回答していきたいと思えます。私のほうでは質問を読み上げてみたいと思っております。まず初めに青年会からの要望でございますけれども、青年会においては活動人数が少ないということが悩みのようでございます。そして青年が伊江島に戻ってくる政策を何とかつくれないかという御意見で、御質問が出ております。そして意見としては、戻ってこない理由としまして住む場所がない、仕事がない、イベントが多いなどが聞こえているということでございます。特にイベントに関しては、嫌でも参加、出場しなければいけないような風習があるということから、若いうちは帰ってきたくないという方もいらっしゃるという声があると。また住む場所がないと、仕事がないという面は、長期的に考えていけないといけないということでもあります。イベントに関してもやり方を考えていかなければいけないんじゃないかという御意見があるようです。その要望として、青年会は先ほど申し上げましたとおり、活動人数が少ないということで青年会独自で主催者としてイベントを行うことが厳しくなっているということで、ある団体と主催者側を変更してほしいという要望をしたようですけれども、青年会としてやったほうが、その意味がある、そのイベントについて意味があるというような回答を受けたということがあるようでございます。

#### ○ 総務常任委員会委員長 島袋 勉

どうもお疲れさまです。それでは青年会からの質問、意見、要望について、私、島袋から聞き取りと、教育委員会などで聞き取り、それと議会の方針を回答していきたいと思えます。

質問1の青年会の戻ってくる政策等、それと意見の中でも理由として住む場所がない、職種がないというのが、絡みがありますので両方兼ねて回答させていただきます。伊江村議会からも住む場所の確保を要請してきています。今年度は阿良区に移住定住促進住宅が令和6年3月に完成する予定になっております。それと、多数の雇用が期待できる企業の誘致に関しては、継続して私たち議会も村当局に関して要請しているところでありますし、これからも要請を継続していきます。そしてイベントに関しても、教育委員会に意見内容をお聞きしました。イベントに関しては、他団体との絡みも大分あり、重々教育委員会も自覚されていて、問題に関しても重く受け止めておりました。イベントに関しては各団体との関連も含め今後調査し、課題として取り組みますという報告を受けております。議会も、その取組等に関しては協議の中に参加していきたいと思えますので、以上、青年会からの内容に関しては回答とさせていただきます。

○ 総務常任委員会委員 島袋 義範

次にふさと苑さんからの御意見が出ております。台風の後ふさと苑の近くのカーブミラーが根元から折れたということで、直後に議員の数人に口頭でお願いをしましたが、2か年を経過した現在でもその進捗がないと、早めにしてくれということの要望がございました。

○ 総務常任委員会委員長 島袋 勉

それでは回答させていただきます。カーブミラーの設置工事に関し管轄は村の総務課になります。総務課に聞き取りいたしまして、令和5年10月4日にカーブミラー設置工事の入札執行がありました。本工事では、御指摘のありましたカーブミラーの改修予定になっております。口頭で要請した議員の皆様も、その直後に担当課への要請を行っていましたが、令和4年、去年はカーブミラーの修繕が多く、支柱を含む改修工事の予算がなく、令和5年度の執行になったとの報告でありました。今後は学校周辺や危険度の高い場所を行政や各区と協議し、早急に執行できるよう議会としても要請していきたいと思っております。以上です。

○ 総務常任委員会委員 島袋 義範

次にグループホームいえしま、老人ホームから出ております。以前よりも、福祉分野での議会の議論が少なくなっているような印象を受けますという御意見をいただいておりますので、我々も考えていきたいというふうに思っております。物価高や物資調達などの困難な情勢が厳しい面が今あると。高齢者におけるBCP対策、紙おむつ、衛生材料、タオル、そういうものの物品が多く必要であるということでございます。BCPについては後で、答弁で説明があると思います。そこで老人ホームで何かあったときの避難場所としては東江上公民館にするという確保はできているようではございますけれども、そこでの保管庫、物入れがありませんのでよろしく願いますということが出ております。

それと2つ目には、どこでも問題ですけれども人材不足が大きな課題だと。介護職について特に専門職、介護支援専門員、看護師、栄養士などの人材確保がままならないということでの要望がございました。

○ 総務常任委員会委員長 島袋 勉

ただいまの説明ありました意見等について回答させていただきます。

役場の担当課は主に住民課が主管になります。まず最初に、②の人材不足に関して調査した内容を報告させていただきます。人材不足の取組として、行政は令和3年度に介護福祉事務者研修会を行い7人が受講し、その中から2人が国家試験に合格しております。令和4年度には入門的研修を開催し43人が受講し、同じく令和4年度に介護職員初任者研修、これは旧のヘルパー2級になりますが、12人が受講しました。今年度5年度は入門的研修で17人が受講し、介護職員初任者研修で12人の方が受講されています。次年度に向けては、令和6年度は介護職員、介護福祉士実務者研修を予定しているとの報告を受けております。

続いて、高齢施設におけるBCP対策について回答させていただきます。高齢者施設の大規模災害発生によるBCP、これはこの発生時による事業継続計画になります。その対策として備蓄品の保管場所、これはコンテナ等になります。その設置については、コンテナ等は主管が総務課になります。総務課、それと主管の住民課等で事業者が老人ホームいえしまさん、それとふさと苑、それと昴さんがあります。その3事業所も含めて調査して、今後協議していくとの報告を受けております。それと、かねてから行われております専門職の人材不足に関しては、これは全国的な課題ですので、様々な場面で私たち議会としても提言していきたいと思っております。以上、回答といたします。

○ 司会 宮城 弘和 議員

お疲れさまでした。以上で7団体からの要望、意見等についての回答となりますが、ただいまの回答にしまして、各団体から御質問があれば賜りたいと思います。御質問される方は、初めに団体名とお名前をお願いいたします。それでは御質問があれば挙手をお願いしたいと思います。ただいまの説明で御意見があれば、

よろしくお願いたします。

○ たばこ振興会 ■■■■■

たばこ振興会の■■■■■といいます。先ほど、化学肥料に代わり堆肥センターからの堆肥を助成するという話がありまして、それは12月28日までと思っておりますが、そのときにその申込みが殺到したとき、堆肥センターが対応できるのかどうか、その辺をお聞かせください。

○ 経済・公営企業常任委員会委員長 並里 晴男

この堆肥センターの配布につきまして、今おっしゃったとおり、このチラシが出たのは、皆さんの要望が出た後、自分たちもチラシを見ました。それで、本当に殺到したときの考え方はどうなるのかということのうちでも議論をしましたが、まだ執行していない状況でありますので、今、申請した時点、そういったときにやはり行政側として、以前にも結構価格を下げたときに、かなり量を買った人とかがあったと。そういったことを踏まえながら対応していけるように、行政とも意見のすり合わせをしていきたいと思っております。

○ たばこ振興会 ■■■■■

ありがとうございました。

○ 司会 宮城 弘和 議員

また各団体から、何か御質問があればよろしくお願したいと思っております。御質問、大丈夫ですか。

御質問がないようでございますので、次に移らせていただきます。また何かございましたら、後ほどの意見交換会、一般の意見交換会でも構いませんので御質疑をよろしくお願したいと思っております。

それではただいまから会場に御来場の皆様からの御意見をいただきたいと思っております。ただ、御承知のとおり、本日の意見交換会は伊江村議会として開催し、議会全体としての報告及び意見交換の場としての位置づけとなっております。議員個人に対する発言は御遠慮いただきたいと思っております。また、なるべく多くの方から御意見や御発言をいただきたいと思っておりますので、お一人3分程度での御質問をお願いたします。御発言なさる方は、最初に行政区とお名前を言っていただきまして御発言のほうをよろしくお願いたします。

それでは御意見がある方は、挙手でよろしくお願いたします。

○ 阿良区 ■■■■■

阿良区の■■■■■です。今現在、菊農家ですが、病害虫、カメムシ、ヨトウムシ、アブラムシ、他にスリップス、白さび被害が村内で多く見られて、蔓延した畑は去年でも4、5件とか、今年でもたくさんの農家が病害虫被害で畑を潰したり、出荷時に等級が下がったり、ふだんは7日から10日の間隔で消毒していますが、虫が入れば2日に1回、3日に1回など、通常の倍以上の農薬を使用します。そこですが、他の産地、県内の市町村を調べたところ10市町村、その他を含めると、まずは農薬で西原町10%。那覇市、農薬30%、花箱50%、肥料50%。中城村、農薬10%、花箱10%。北中城村、農薬20%。うるま市、農薬、去年の4月までは8%だったんですが、それ以降に30%に引き上げられています。金武町、農薬が20%、花箱10%、堆肥30%、化学肥料7%。恩納村、農薬5%、花箱10%、堆肥15%、化学肥料7%、ビニールネット等10%。沖縄市、農薬25%、緑肥50%。名護市、農薬10%、肥料が50%。国頭村、農薬25%、除草剤25%、肥料40%、化学肥料10%。大宜味村、堆肥20%。久米島町、緑肥50%。八重瀬町が肥料15%にLEDの電球などが50%以内。本部町が堆肥50袋給付などあります。ぜひ伊江村でも、この農業に対する出荷のときにかかる農薬、出荷箱、肥料、あと離島に送るための運賃、輸送代みたいな感じを幾らか助成してもらえれば助かります。以上です。

○ 副議長 内間 広樹

■■■■■さん、大変ありがとうございます。個人ですごい努力をされて、各市町村の事例を今述べられて、全て筆記することはできなかつたんですけれども、ぜひ今後、うちに常任委員会がありますので、ぜひ一席設

けさせていただいて、細かいことをまたお聞かせ願えればなというふうに思います。それを踏まえて、やっぱり予算も伴うことなので、どういう形で行政に要請していったらいいのかということも一緒になって考えていければなと思いますので、貴重な御意見、大変ありがとうございます。

○ 司会 宮城 弘和 議員

よろしいでしょうか、■■■さん。貴重な御意見ありがとうございました。

次に、どなたかございますでしょうか。

○ 川平区 ■■■

川平区の■■■と申します。私は伊江村商工会に勤務しております、私のほうから2点、意見を1点、質問を1点述べさせていただきたいと思います。まず商工会として、商工会が地域の商工業者で組織された特別認可法人ということで、地域の事業者の支援を通じて、村の経済振興のお役に立てるよう活動している団体でございまして、その会員の皆様から少しお話をいただいた点をこちらで述べさせてもらえたらと思います。事務局の皆さんすみません、事前にこちらをお出しできず、大変申し訳ございません。

まず1点目についてなんですけれども、まず意見の部分で、ユーチューブ配信をしてはどうでしょうかというところがございます、村の動きを知る機会を増やすためにも、今後はITを活用して他市町村でも見られるユーチューブなどを使ったオンライン配信も利用したらいかがでしょうかという御意見がございました。また質問なんですけれども、最近の新聞でも公表がありました。2025年に沖縄県の北部で開業予定の大型テーマパークについてですが、本島だけでなく伊江村への経済波及効果も期待しております。村内経済活性化のためにも、テーマパークに訪れる海外や県外の観光客の受入れや受入れに係る村内の環境整備など、テーマパークに絡めた経済振興策などについて議会でも御検討されていらっしゃるか伺えますでしょうかという質問が1点ございました。私のほうからは以上になります。

○ 並里 晴男 議員

商工会からの御意見の情報につきましてですが、現在ユーチューブ、SNSで発信しているのは伊江村のタッチゅんがあるかと思います。そのほかにユーチューブを配信したらどうかということなのか、ちょっとそこは分かりませんが、今後また伊江村としても行政がタッチゅんというところで、報告はしているということを知ったりしてですね。それからこの間行きました、教育委員会からの芸能発表会、そのときも発信はしていました。それは、商工会ではないかもしれませんが、今後そういった方向でできるかどうか、また議会としても要請事項等を検討しながら進めていければというふうに思います。

○ 議長 渡久地 政雄

テーマパークを北部議長会等とかでも、やはりやんばるは1つだということで、テーマパークを利活用して近隣の北部の発展のために、網羅して取り組んでいこうということで、その中で一番はやはりやと発表はされたんですけども、された時期で、今私たち市町村から、まずは何をやってほしいとか何をやろうということはまだ固まっていないんですけども、指導員から言われたとおり、近づけば、あと2年ですか、開業に向けて取り組んでいますので、波に遅れないように、これについても議会として真摯に皆さんから意見も聞きながら、行政とタイアップして、遅れないようにやっていきたいと思います。

これはまだ発表された時期で、どのようなことを今やろうということは大体分かったんですけども、一番の問題が北部全体として道路網の問題が一番の課題だということで、地域の経済発展に結びつける前にやんばるの道路状況を改善させようとするのが、私たち北部12市町村の議会として、国や県に訴えて、やんばるの経済に向けて取り組んでいるところではございます。確かにこれを利活用しない手はございませんので、どんどん発信して、皆さんと意見を聞きながら行政を動かして、タイアップしていきたいと思います。いろんな意見をまたアドバイスください。共に頑張りましょう。

○ 川平区

ありがとうございました。

○ 司会 宮城 弘和 議員

どなたか、何かございますでしょうか。

○ 西江前区

西江前区です。この夏ですね、ちょっと不思議に思ったのがありますので御意見申し上げます。

夏休み期間中、無料バスです。あれはどういう経過でそこに至ったか、教えてもらえますか。お願いします。

○ 議長 渡久地 政雄

これは一括交付金を利用して行政、村長部局のほうから、村長の施政方針の中で、コロナ禍により観光業が衰退して、確かに民泊もそうですけれども、伊江村への来村が大分減ったということで、一番大きいのが夏場が減ったということで、この一括交付金を活用して増やそうという狙いが最初の狙いで、それから運行は始めています。それについてはうちの島袋義範議員から再三再四質問、そしてこの12月の定例会でも義範議員が再度、それについてはまた質問しますので、それについて義範議員からアドバイスももらいたと思います。

○ 島袋 義範 議員

去る9月に私はゆり祭りに関して一般質問も既に広報は皆さんの家庭に届いていると思いますので、御覧になっていると思います。今、さんがおっしゃった件ですね、私もこれは合点ならないということで村長にも申し上げていますが、一括交付金を使っているんだからいいんじゃないかということでしたけれども、今度はまた夏休みの件、夏休み中だけではなくて、9月いっぱいまた運行したんですよね。これも村が無料にしているということで、先ほど議長からもありましたけれども、9月ではゆり祭りの入場料と波止場と城山とゆり祭り会場のバスの無料についてただしましたけれども、御覧のとおり継続するんだという答弁でした。こういうときにまた9月の、先ほどさんからありました夏休みのバスの件がありまして、私も老人会の西江前区の会長をさせられておまして、ゲートボールの練習を向こうのドームですけれども、人が乗っていないバスが来て、村長でもいれば村長にすぐ文句を言うはずだけれども、議会議員として私は1人しかその場にいませんでしたので、矛先が私に向いたわけですが、**「ヌーガイッター、アリシ、ジニーパラユルバイ」**ということもあったりして、先ほど議長からあったとおり、この12月12日から議会が始まりますけれども、ぜひ傍聴して村長とのやり取りを聞いていただきたいと思います。今、それより深くはちょっと申し上げられませんが、これぐらいで止めておきたいと思います。よろしく申し上げます。

○ 西江前区

それと、実際に2か月間で乗った人員とかかった経費をお願いします。

○ 議長 渡久地 政雄

今の質問に対しても、このデータは出ていると思いますけれども、今回それもまた義範議員の一般質問の中に含んでいますので、12月定例会で発表がありますので、正確な数字は今ここでは述べられないと思うんですけれども。

○ 西江前区

なぜですか、データはちゃんと、2か月やっているデータはちゃんと取るべきでしょう。

○ 議長 渡久地 政雄

はい、これはしっかりとやってあると思います。それをまた質問の中に含んでいますので。

○ 西江前区 ■■■■■

2か月間かかって、幾ら支払いしましたか。

○ 議長 渡久地 政雄

経費とかですね。それはちょっと、敏郎議員。

○ 亀里 敏郎 議員

亀里と申します。■■■さんの質問は大変貴重な質問だと私は思います。私も■■■さんの言いたいのは、あれだけの大型バスを使ってお客さんもないということを言いたいと思います。私もあれは無駄な予算だったんじゃないかと、この場で宣言したいと思います。そういうことを言いたいんじゃないでしょうかね。そして、もし新年度にああいう予算が計上されたら、私たち議会としてもう一度再考する必要があるんじゃないでしょうかね。

○ 西江前区 ■■■■■

そうですよ、皆さん全部同罪ですよ。また一括交付金を使うと村長は言い切っていますよね。

○ 亀里 敏郎 議員

交付金を使おうがどうしようが、どうせ無駄な金なんです。ほかに使えるんですよ。だからああいうことは我々議会としてももう一度真剣に考えて、また今言っていましたように、あれだけの大型バスを使って1人か2人ですよ。そして運転手もはっきり申し上げます。「チュー、ウランムン、オPPERアワリヤッサー」とはっきり言っていました。以上です。

○ 西江前区 ■■■■■

あの一括交付金については、こういったものに出すんじゃないくて、もっとほかに村全体の福祉に、いろんなものに使えますよ。そこに目を向けてください。お願いします。以上です。

○ 司会 宮城 弘和 議員

ありがとうございました。何かほかにございますでしょうか。

○ 川平区 ■■■■■

こんばんは。川平区の■■■です。議員の皆さんから議員報告をいただきまして、大変自分としても満足しているところがあります。そういったところをお伺いさせていただいていますけれども、ただ1、2点質問させてください。私ごとになるものですから、できれば今日発言はしないでおこうかなと思ったんですが、せっかく今日は委員の皆さんもいらっしゃいますので、一言言わせてください。

私はもう7年前から伊江島の小麦を使って村おこしをしたいなということで、いろいろな模索をしながら取組をしてきて、今現在、皆さんのおかげで何とか小麦の量とか作った質とか、いろんな加工商品も皆さんと一緒に進歩しているのは有り難いことだと思っています。本当にありがとうございます。ただ、3年ぐらいたちまして、去年、3年前から実は沖縄県の代表であるオリオンビールさんが、伊江島の小麦を使って商品を作りたいということで、当初小麦を使ったクラフトビールを作っていたんです。それをやって、それをオリオンビールの社長の思いがありまして、大麦を植えてみようじゃないかと。大麦を植えて大麦でオリオンビールの定番であるドラフトビールを仕掛けたいんだということで私のほうに打診をされまして、それだったら一緒にやっていきたいですねということで作らせていただきました。確かに量的にはそんなにたくさんの量を使っているわけではなかったんですけども、でもその中であってオリオンビールさんが全国的に伊江島の農産物を使ってオリオンビール、ドラフトビールを作っていますよということを大々的に宣伝してもらいましたよね。そのときに私はある議員の皆さんにも、こういうことで来ているんだ、私のためじゃないですよ。伊江村がこれだけ皆さん全国にPRをしてもらっている、その辺に対してはオリオンビールさんにお礼を議員の皆さんも言うべきではないですかという話をさせていただいた

んですけども、結局はそれもなく、全く私個人的に村長もオリオンビールの本社のほうにお願いをして一緒に行ってもらってお礼をした経緯が2度ほどあります。ですからそういった面、私の麦だけにこだわらず、ほかの面でもらっきょうとかいろんな面で本当に伊江村の農家の皆さんはすごい、僕は感心するぐらい頑張ってくれているな、すごいなという思いがたくさんあるんですよ。ですから、そういった面で先ほどあった一括交付金の件でももっと農業振興、またそれをやろうとしている、その加工品を作っていこうとしている村民が多々いるわけですから、そういった人たちにいろんな形で助成していただけるような方法も検討していただければなと思っています。その辺のところは本当に皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。私も前回、商工会の役員もしていましたので、今日質問していただいた1人の意見もよく理解したいなと思っていますので、一緒になってやっていける方法を、ぜひ議員の皆さんも一緒に取組をしてほしいと思っていますので、よろしくお願ひしたいなと思います。以上です。

#### ○ 議長 渡久地 政雄

■さん、ありがとうございます。その■さんのおかげでオリオンビールから伊江島の麦を使ったドラフト、大麦を使ったドラフトビールが全国的にテレビでもコマーシャル等でうたわれて、相当伊江島のPRをしていただきました。それに対して今日まで当局や議会もまだオリオンビールに対してのお礼はちょっと遅いんじゃないかという指摘も私もありまして、村長と同行してお礼を申し上げたことはあるんですが、しかし遅いと。確かにこれを反省して、今後そのような形でお礼すべきところは積極的にどんどん私たち議会も、また当局も遅れないように、今指摘のあったことは肝に銘じて即できるような形で取り組んでいきますので、アドバイス、御指導をまたよろしくお願ひします。

#### ○ 川平区 ■

1点ちょっと言い忘れましたけれども、今現在、ドラフトのビールには伊江村の大麦を使用していますという広告がされているんですね、印字されているんですけども、残念ながら来年度4月からのものに関しては沖縄の大麦というふうに変えていくというところまでもう話が進んでいます。ですから、それもまだ多分余地はあるのかなというところがありますので、ぜひ皆さんも一緒になって沖縄、伊江村、大麦を現在作っているところは伊江島しかないの、小麦はありますけれども。そういった面を含めてぜひ早急に取組をしてもらえると有り難いなと思います。よろしくお願ひします。

#### ○ 並里 晴男 議員

ただいまの意見につきまして、本当に大切なことを私たちも見過ごしていたのかなとちょっと思っています。オリオンビールにかかわらず、ほかの作物、そういったところに販売していく。出されているところ。それからいろんなところに出しているものにつきまして、経・公委員としてももうちょっと早く気づいていくべきかなと思いましたがけれども、先ほど議長が言ったとおり、今後につきまして早急に議会として意見をまとめて出せればと思っています。よろしくお願ひします。

#### ○ 伊江島観光協会 ■

伊江島観光協会の■と申します。よろしくお願ひします。お願ひが2つあります。1つは、今全国的に結構ニュースになっています。伊江村でももちろんやっていますが、ふるさと納税で地域づくりをやっている他地区をぜひ議員の先生たち、視察に行つて、伊江島に持ち帰つて私たちと一緒に伊江島のPRをしたいと思うので、よろしくお願ひします。これはお願ひです。

もう1つは、先ほどからタッチゅん商品券の話が出ましたが、年末の心配していたとおり、喜んで皆さんタッチゅん券をもらえると大喜びしているんですけども、令和4年、令和5年、今年も2年続けて観光客向けプレミアム商品券を販売して大変好評でしたが、村民からの意見もありました。伊江村の村民向けの商品券を発売してほしいと前にもありましたので、そういったのを御検討いただきたいなと思います。よろしく

お願いします。以上です。

○ 島袋 勉 議員

ふるさと納税に関しては総務課が管轄になると思いますので、こちらで答弁させていただきます。

令和6年度に、伊江村議会として所管事務調査で全国と調査をやる年になっております。先ほどあった意見も踏まえて、ふるさと納税の先進地域もこちらで調査して、そういった使い方の事例がいいところ、全国のいいところを調査していきたいと思っております。これはいい意見ですので私たちも真剣に考えて、そういった事例のところを調査していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 議長 渡久地 政雄

■■■■さん、どこの場所が先進地として情報ありますか、あちこちあるとは思ひますが。

○ 伊江島観光協会 ■■■■

特にはございませぬ。お任せします。

○ 議長 渡久地 政雄

分かりました。今、総務委員長から報告がありましたけれども、確かにふるさと納税、伊江島ははっきり言ひて遅れているということで私も質問したことがあるんですよ。当時他市町村はもう、今帰仁村あたりは1億、恩納村が10億と、このような感じで本当にどんどん商品、贈呈品ですね、返礼品を伊江島はやはりマンゴーが人気ナンバーワンなんですけれども、やはりアイテム数が他市町村に比べて少なかったのか、一昨年までは3,000万だったけれども、今年、伊江島もやっと5,000万円に近づいたふるさと納税が入っております。それから今■■■■さんが言ひたとおり、先進地を視察する、あるいは勉強をしてもっと返礼品を増やす、目玉商品を作ひてやろうと思ひている、今質問をよくやひています。その中で、今回条例で企業版が今年の議会で条例が制定されて、来年からはまた企業版も入ってきます。PRする予定ですので、伊江島出身あるいは知り合ひの大手の会長、社長とか御存じでしたら、ぜひ伊江村に企業版のふるさと納税が多く入るようひに、皆さんで力を合ひせてやひていきたいと思ひております。10億の恩納村は、やはりそれだけ観光団が1年を通してホテルがいっぱひあって、そのホテルの商品券も返礼品としてあるということでもとても人気があります。今帰仁村はやはりマンゴーからスイカからということで一番農産物の返礼品がよかつたということで今日までは1億円余っております。確かに伊江島も徐々に上がひてはいますけれども、目標1億以上をやひていきたいと思ひておりますので、いいアドバイスがまたありましたら、御助言ください。

あと1点、タッチゅん券もそうなんですけれども、観光客向けにとても好評で、即売したみたいなきんじで、また継続してほしいという要望もありましたけれども、それを村民向けに……。

○ 伊江島観光協会 ■■■■

前ありましたよね。

○ 副議長 内間 広樹

3、4年前ですかね、■■■■おっしやひているプレミアムつき商品券、30%のプレミアムがついていたと記憶してはいますけれども、コロナ禍で需要が減つたてこ入れとして、国で予算化されて、各市町村で取り組まれた事業であります。今回伊江村の観光、いらっしやる観光客に向けてのプレミアム商品券2年連続ですかね、発券してはいる状況ですけれども、■■■■がおっしやひている村民向けのプレミアム商品券について、また我々のほうでも調査研究してはいきたいなというふうひに思ひてはいます。どうしてもこうして要請するときには予算の伴ひることなので、我々もいろいろ慎重に協議しながら進めてはいかないといけなひので、すぐ今日やひります、来週までにやひますという返事はできなひんですけれども、お時間をいただければなというふうひに思ひます。以上です。

○ 伊江島観光協会 ■■■■

ありがとうございます。

○ 司会 宮城 弘和 議員

次の方、よろしくお願いします。

○ 和牛改良組合

和牛改良組合、です。提出が若干遅れまして、申し訳ございません。今回のものには入っていないんですが、畜産総合施設が6月オープン、4月から導入開始ということで始まっております。今徐々に頭数は増えてきておりますが、来年の10月頃から肥育の出荷が始まります。それにおいてやっぱり販売も強化をちょっとお願いしたいなというのが1つあります。北部、何ホテルですか、ヒルトンホテルですか、大きなホテルもできております。25年度にはテーマパークができるというのも今出ております。さらにはこのふるさと納税、そういったものにもぜひ載せて、この伊江島の肥育牛を販売してできたらと思い、販売、拡大のためのアドバイザーとか、そういったものがあればいいのかなと思っておりますので、よろしくお願いします。10月から肥育が出荷するんですが、それからというのはちょっと遅いものですから、ちょっと早めにPRとかできたらなと思っておりますので、ひとつよろしくお願いします。

○ 並里 晴男 議員

和牛改良組合のさんから、実は先ほどの意見・要望をいただいたのがつい最近でして、今回のここには載せていません。しかし、先ほどの意見の中で、畜産農家の立場から非常に厳しい状況の中、そして今後の総合施設が完成したときを見据えて、畜産の販売ルートとかを早めに確立してほしいという御意見でありますので、その点もやっぱりいろんな角度から検討しながらやっていかないといけないと、先ほどおっしゃったように、販売ルートというのはこの企業にすぐ持っていけるものなのか。そういったことを内部で、いろいろ確認とか調査をしながらやっていかないといけないと思います。そしてその際には、できた暁の中にはいろんな加工品とかをしっかりと吟味して、それをまたいろんなSNSとか、ふるさと納税の返礼品、それから企業版に持っていけるよう、今後、私たち議会としても取り組んでいければと思いますので、また皆さんの意見をどんどん取り入れながら、一緒に今後、検討していきたいと思います。みんなで頑張りましょう。

○ 議長 渡久地 政雄

先ほど経・公委員長から企業版とも言いましたけれども、企業型には返礼はやっていきません。企業は、あくまでも免除、税金のですね、免税ですから、返礼品は全て個人のふるさと納税の方々に対して適用されますので、企業には一切禁止です。

○ 司会 宮城 弘和 議員

何かございますでしょうか。せっかくの機会ですから、本日参加いただいている皆さんの率直な忌憚のない御質問、御意見、御提案いただきたいと思っておりますので、どんなことでも構いませんので、何かございませんでしょうか。よろしくお願いします。

○ 和牛改良組合

すみません、あと1つですね。昨日クラスター事業の説明会があったんですよ、東京のほうで。その中で、新規就農、若い方々が結構いたものですから、その中において昔、大型特殊免許、飛行場とかで開催して取れるような格好がありましたよね。農家とか結構牽引をしておりますので、農業への牽引免許とかそういったものも、毎年というのは難しいかもしれませんが、2、3年かあるいは3、4年間に1回ぐらいは定期的で開催して免許、皆さん持っているとは思っているんですが、中には持っていないで乗っている人もいないかなど。また、これから新規就農で若い連中にはぜひ取ってもらって、意識してもらいたいというものもありますので、ひとつそこも定期的に免許が取れるようお願いします。

○ 島袋 勉 議員

一応、管轄は総務ですので回答させていただきます。

この意見は大型特殊、並びにフォークリフトなんかもそうですね。以前は伊江村でそういった免許が取得できることは、私たちも実際伊江島で大型特殊も取っております。この件に関してはずっと要望は出しているんですが、今現在ちょっとその提言等が疎かになっているところがありますので、今回のクラスター事業等、そういったものがあれば取りやすいということも重々今分かっておりますので、所管である総務課を通して、これは警察、公安委員会ですかね。公安委員会が主管になります。重要な意見ですので、これは早速議会から提言、要望として上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○ 司会 宮城 弘和 議員

何かございませんでしょうか。まだ時間ございますけれども。大丈夫でしょうか。

○ 伊江島観光協会 [REDACTED]

議会の皆さんも初めての今回の意見交換会なんですけど、ちょっと前に座って怖くてですよ、公民館とか、各地域で小さいのなんか、小さいのを少しずつ始めたら、もっと女の人からも意見ないかなと思います。以上です。怖かったです。

○ 副議長 内間 広樹

ありがとうございます。重々伝わっております。この初めての議会報告会・意見交換会を進めるに当たって、どういう持ち方をしたらいいのかということで我々の中でも協議しました。村民全体を対象にやると本当に集まっていたらいいのだろうか。本当に意見が出るんでしょうかと、いろいろ協議した中で、もっと細かく、各団体と意見交換したほうがいいのではないかという意見もある中、今回初めてということでこういう開催の仕方になったんですけれども、今日皆さん、お手元にあるアンケート等々も今後しっかり精査して、どういう持ち方が効果的なのか、意見が出やすいのか。我々も議会として意見を組み合わせようかという、意見の出やすい雰囲気もその中でまた協議をしていって、次、今ここで第2回あるかどうかというお約束は。

○ 伊江島観光協会 [REDACTED]

ぜひやってください。

○ 副議長 内間 広樹

これからの我々の、あと皆さんのこのアンケートのあたりも精査しながらですけれども、その辺も含めて、持ち帰ってまた協議していきたいなというふうに思います。ありがとうございました。

○ 亀里 敏郎 議員

先ほどの観光協会の [REDACTED] のふるさと納税、今、自己財源の脆弱な伊江村において唯一希望の持てるのがふるさと納税だと私は思います。そこで私、一般質問を何度もしました。そして私がこれから議員の皆さんに提言していきたいのは、私は長いこと民泊事業をやっております。もうかれこれ20年過ぎます。年間4万人が来ます。20年で80万人が来ています。20年前の17歳が初めてです。といいますともう、最初来た子供たちが37歳になっています。脂の乗り切った、財政的にも経済的にもかなり余裕のある子供たちがもう大人になっているということで、これから議会の皆さんにもこれを提言して、こういう伊江島で、この伊江島の子供、そして孫になった子供に対して、ぜひ何かアピールができないか。ふるさと納税で、皆さんの第二のふるさとに行ってもらっちゃい、行ってまいります、そこをもうちょっと強調していければ、このふるさと納税がもっともっと周知できるんじゃないかなと思いますから、私が議会にいる間は、このふるさと納税増について、伊江島で培った子供たちに何とか大きくお願いできるよう、議会も活躍していきたいと思ひます。その先にはまたいろいろ観光協会にもお世話になるかも分かりませんので、ひとつよろしくお願ひしまして、ふるさと納税、増やしましょう。

○ 伊江島観光協会 [REDACTED]

よろしく申し上げます。

○ 川平区

すみません、座ったままでお願いします。先ほど私ごとの話をさせていただいたんですが、今和牛改良組合から、次年度に向けて和牛の出荷も肥育の出荷もできますよというお話がありました。私、常々思っているんですが、今年も離島フェアは終わってしまいましたけれども、毎年、伊江島から出店するのは大体もうありふれたものばかりのあれで、他では伊是名とか伊平屋は必ず何らかの新しい商品等が持ち寄られてPRされているんですよ。そういった面で、ぜひ伊江島も毎年1点ずつでいいので新しい商品を開発して、みんな伊江島の本当にお土産品作りをしてもらいたいな、できないものかな。先ほども伝えましたけれども、伊江島の農家の皆さんってすごい実力にたけたあれを持っていますので、そういったものを加工商品に変えて、より収入のいい方向の収入が得られるような体制づくりを取っていけるように、村と一丸となって各組織の皆さんも一緒になって取組をできるような、お互いの中でチームワークをつくっていける体制づくりを整えてもらいたいなと思います。以上です。

○ 議長 渡久地 政雄

さんの貴重な意見ありがとうございます。実は去る離島フェア、私たち議会総務委員で激励に参りました。私も、今まさしくさんから出た意見、数人の方から私、聞かされております。確かに見て他市町村を見ると新アイテム、新商品、また伊江島はハイビスカスは結構人気があって売れたんですけど、確かに伊江島は商品、ちょっとPR不足じゃないかとか、マンネリ化しているようなことも多々言われましたけれど、これはもう、ぜひ議会もそうですけれども、村の皆さんもそうですけれども、みんなで一品、伊江島の何かいい商品をアイデアを出す対策としてはやはり商工会、あるいは生活共同組合とか、皆さんのこの商品を扱う団体との勉強会をしないと、伊江島のコーナーが少し他島に引けを取っているなど感じておりますので、次年度は先ほど指摘されたとおり、みんなで知恵を出して良い商品づくりに取り組んでいけたらなと私も個人的にもそう思っておりましたけれど、その面も経・公の委員、そして総務委員の皆さんとまた話し合っ、次年度に向けて何かいい商品開発ができないか検討して、できるように当局にまた訴えていきたいと思っております。

○ 並里 晴男 議員

先ほどのさんの意見の中で離島フェア、私も個人的に見てきました。そのことで私もちょっと行政に対して質問したことを少しだけお話しさせてください。島の商品、あるいは物産のPRするためにはそういった離島フェアとかが非常にいい機会なんですよ。私がちょっと質問したのは、仮称でもいいから、仮称伊江島物産フェアをやってくれということをお願いしておりますので、これ例えば、コロナ禍で本土のほうまで行ってはできなくなったので、今回、新年度予算がつくのかどうか、興味を示して今後また行政にいろいろ、聞きたいことは聞いていってみたいと思います。どうもありがとうございました。

○ 司会 宮城 弘和 議員

どなたかございませんでしょうか。

○ 東江前区

東江前区のと申します。先ほど亀里議員からもありましたとおり、伊江島には民泊の生徒が年間何万人か来ていますけど、私ももう15年ぐらい民泊しています。その中で、内地から来た生徒さんは、伊江島に来たらやっぱり海に行きたいというのがすごい意見が多いんです。その中でビーチに連れていきますけど、今のビーチでは裸足では入れません。観光協会からも靴を履いて入りなさいという指導をやっています。それとまた、フェンス内で泳げるスペースが小さいんですよね。大潮のとき、まず干潮時に海に入るとしても膝ぐらいの高さしかないです。下手すれば石が出ています。その中で生徒を入れると、やはりこれはビーチ

じゃないよねっていう意見が多いです。それと、満潮時に右の奥のほうが急に深くなっています。今ライフジャケットを着ているので安全は確保されていますけど、もし着ないで入った場合、溺れる可能性もあります。ですから、早めにビーチの整備、人工ビーチ化するような計画を早く立てて実行していただきたいと思います。両方ですけど、お願いします。

○ 並里 晴男 議員

ただいまの御意見で、ビーチの改善ということですが、青少年旅行村のその計画の中で、ビーチのフェンスが立っている場所とか、いろいろ検討をされています。そしてこれがいつになるかということはまだ今のところ申し上げられませんが、その海に入らないということというのは、子供たちにとって、せっかくの民泊で来たときに思い出づくりがなかなかできないという状況は非常に残念でありますので、今後とももっと行政ともいろんなことを今後要請していければなということを思います。以上です。

○ 司会 宮城 弘和 議員

まだ何かございますでしょうか。時間の都合もございまして、あとお一人にさせていただきたいんですけども。よろしいですか。大丈夫ですか。

先ほど多くの皆さんに貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。皆さんからの貴重な御意見をしっかりと議会のほうで受け止めまして、今後のまた皆様の御意見が反映されるような活動をしっかりとやっていきたいと思います。

それでは今回の意見交換会は閉じさせていただきますが、それでは閉会の挨拶を内間副議長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○ 副議長 内間 広樹

皆さん大変ありがとうございました。そして、お疲れさまでございました。7時からということで2時間の時間設定で、今回第1回目の議会報告会、それと村民の意見交換会を開催させていただきました。先ほども申しましたけれども、大きく広げ過ぎると本当に意見が出るんでしょうかということ解消しようかということで、事前に16の団体にこのような御意見、要望を求めております。7つの団体からあったものに関しては各常任委員長のほうでお答えさせていただきました。それ以外に11の質問がありました。大変皆さん、伊江島を思う気持ちは一緒なんだなというふうに思っています。先ほども申しましたけれども、持ち帰ってまた議会の全員で協議して、またどういう形で村民、皆さんの意見にお答えできるのかということも含めて、また皆さんに対する今回の内容のお答えについては持ち帰って、再度確認ですが、持ち帰って議会広報誌あたりでまたお答えしていければなというふうに思っています。

先ほど[ ]のほうからありましたように、もう少し個別に開いたほうが意見が出やすいんじゃないのか、我々10人もそろそろもう怖いということもありましたので、今後もどういう持ち方をしていったほうが効果的なのかということも検証しながら、また皆さんとお会いできればと思います。また、日頃から近くに議員の皆さんもいらっしゃると思うので、いろんな御意見をお聞かせいただければと思います。本日は誠にありがとうございました。

○ 司会 宮城 弘和 議員

アンケート調査の提出のほうはよろしくお願ひしたいと思います。